

松前町

議会だより

No.116

2023年2月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

12月定例会



松前町消防出初式(令和5年1月8日)

P3~4 委員会ニュース

P6 一般質問 **5人が町政を質す**

P9 「議会だより」どうですか?(アンケート集計)

松前町
議会中継
[録画]



12月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案第56・57号は第1回臨時会(10月28日)

議案番号	議案内容
56	電気、ガス、食料品等の価格高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等の生活や暮らしを支援するための経費が緊急に必要なことから、令和4年度松前町一般会計の補正(8回目)として2億円894万8千円の増額を専決処分しました。(承認)
57	白鶴保育所改築電気設備工事請負契約(契約金6443万8千円)を締結します。
58	エネルギー価格等の高騰の影響を受けている中小企業や医療・福祉関係施設などを支援するための経費と新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている事業者を支援するための経費が緊急に必要なことから、令和4年度松前町一般会計の補正(9回目)として1億3244万9千円の増額を専決処分しました。(承認)
59	人事院勧告及び愛媛県人事委員会勧告を考慮し、職員及び特別職の給与を改定するため、関係する条例の一部改正します。
60	地方公務員法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、職員の定年を引き上げ、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制を導入し、その他関係条例を整理するため、関係する条例の一部改正します。
61	行政手続における個人の押印を不要にすることに伴い、関係する条例の一部改正します。
62	第5次松前町総合計画に示されたまちづくりの将来像である「生きる喜び あふれる まち まさき」を推進し、5つの基本施策を具現化するため、令和4年度松前町一般会計の補正(10回目)として704万7千円を増額します。
63	主に保険給付費等交付金の超過額を返還するため、令和4年度松前町国民健康保険特別会計の補正(4回目)として2257万1千円を増額します。
64	令和4年度松前町後期高齢者医療特別会計の補正(2回目)として10万1千円を増額します。
65	令和4年度松前町介護保険特別会計の補正(4回目)として190万7千円を増額します。
66	電気代・燃料単価の値上がりにより水道事業費用(光熱水費・動力費)増額のため、令和4年度松前町水道事業会計の補正(2回目)として897万円を増額します。
67	電気代の値上がりにより下水道事業費用(動力費)増額のため、令和4年度松前町下水道事業会計の補正(1回目)として310万円を増額します。
68	身近な場所で相談に応じ様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援(出産・子育て応援金)により、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整えるため、令和4年度松前町一般会計の補正(11回目)として2725万7千円を増額します。



予算決算

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 運転免許自主返納者数増の見込みは。

答 上半期の執行具合では年間で152人、月平均約13人となり、当初予算対比、月当たり2人程度増える見込みである。

問 新たに第8分団の消防詰所を建設するが、面積約90坪に対して、造成

工事に係る費用が1100万円の予算を計上しているが妥当か。

答 基本的には、設計業務で上がったきた積算を参考に、まちづくり課で精査した金額である。

問 第8分団消防詰所建設に係る今後の計画は。

答 令和5年度当初予算に建築等の工事費を計上予定。令和6年2月末に竣工予定である。

意見

消防詰所の建設に対して、地域住民への理解・協力を得られるよう、事前説明をしっかりと行うこと。

◎産業建設部所管

問 福徳泉公園に発生した水草の処分を業者委託するが、草刈りと同じ公園管理業務として行うべきでは。

答 公園内の芝生広場の除草等の管理は業務委託しているが、水面の管理は契約に入っていない。

問 水面も含めて公園管理業務ではないか。

答 今回の水草処分は、水面を覆い尽くして大量発生しているボタンウキワサヤホテイアオイを除去するものであり、公園管理業務とは別のものと考えている。

消防団活動の拠点整備、都市公園の適正な維持管理など、安全・安心な生活環境づくりに関わる予算を可決



水面が見えない福徳泉

問 ①海水汲み上げ用ポンプ等整備事業は継続事業となっているが、新規事業ではないのか。

答 ②補助率は事業費の2分の1だが、全体の事業費の記載がないのはなぜか。

答 ①平成24年に海水汲み上げ用ポンプを設置している。今回は設備の更新と捉えているため継続事業としている。

問 ②事業費の実施主体は松前漁協であり、漁協が施工する工事に対し、町が助成するという考え方である。121万円の工事費の半額を助成するという記載をしている。

問 松前保育所跡地の地下に筒井地区雨水貯留施設を整備することは聞いていたが、義農公園の地下を利用するとは聞いていない。説明と違うのではないか。

答 当初の計画で基本設計を行った結果、土留めの延長が長くなり、事業費が高くなる事が判明した。そこで、義農公園の地下を活用することで、間延びする施設が整うことにより、土留めの施工コストが抑

えられ、総事業費の縮減につながる。

また、施設の容量を決めた基準としては、平成29年の台風の雨量をもとに、車の通行が可能な20センチ程度の浸水に抑えるため、必要な容量を計算した結果、1万立方メートルの施設をつくることで、筒井地区の浸水被害の軽減が十分図られる。

また、義農公園には駐車場がない。駐車場の整備や、地下の雨水貯留施設の上には遊具などは十分設置出来るので、公園機能として、今と変わらない形で利用できると考えている。

意見

15億円もかけて整備する必要があるのか。最小限の規模でいいのではないか。当初の計画どおり、保育所跡地内に貯留施設を整備すべきである。

意見

浸水被害対策のための雨水貯留施設の整備であり、計算して計画を策定している。浸水被害を防止・軽減することは、本町の永遠の課題である。



◎保健福祉部所管

問① 老人ホーム和楽園の入所者数が減少しているが、定員と現在の入所者数は。

② 施設の認知度が低いと感じるが、広報の強化は。

答① 50人の定員に対し、38人が入所している。

② 伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合からの広報とあわせて、構成市町である本町を含めた伊予市、砥部町にも声掛けをし、施設の認知度を高めるための有効的な広報活動について検討したい。

◎教育委員会所管

問 岡田小学校及び北伊予中学校にある蓄電設備の蓄電池が製品寿命を迎え、発火の危険性があることから設備の撤去を行うが、今後の対応は。

答 新たな蓄電池を設置する予定はない。今後は、危機管理課が各学校に設置している家用発電機により、非常時には対応したいと考えている。

問 他の自治体ではイベントをテレビCMで放送している。男子ホッケー日本代表「サムライジャパン」松前町強化合宿を町内だけでなく、町外に向けて宣伝、広報するという考えはないのか。

答 今までもホームページ等、様々な広報活動をしてきたが、より多くの皆さんの目に留まるような広報手段を検討したい。

水道事業会計補正予算

問 電気代が高騰した原因は。また、来年も金額が上がるようだが。

答 使用電力量は昨年度と変わりはないが、燃料費の調整単価や契約変更に伴う料金単価の増により、全体として3割程度請求金額が上がっている。令和5年度は今回増額した金額よりもさらに増える見込みとなっている。

問 公営企業会計である以上、電気代の値上がりは水道料金に反映されるのではないのか。

答 水道事業経営審議会で、電気代等必要な経費の今後の動向を加味しながら、水道料金の適正化についての議論を重ねていく必要があると考えている。



総務産業建設

職員の給与改定

問 会計年度任用職員の給与改定を含まれた処遇改善は。

答 会計年度任用職員は、年度で雇用する際、勤務条件を明示するため年度内に金額を変えることができない。今回の改定を受け、期末手当については、来年度に向けて検討する。

意見 会計年度任用職員の待遇改善も大事なので、検討後の方向性が決まれば教えてほしい。

職員の定年引上げ

問 定年延長の雇用は、本人の希望によるものなのか。

答 退職か継続かは本人の希望による。

問 来年度以降の新規採用への影響は。町 町の定員数は条例により24人と定められている。本年度の職員数は222人である。毎年度、退職者数を考慮しながら新規採用を行っていく。

問 介護休暇等は認められるのか。
答 介護や出産に対しての休暇制度はある。

問 給与月額7割措置適用後の個別手当の取り扱い。
答 給与をベースにしている時間外手当は7割の額だが、扶養手当など個別の手当ではもとのままである。

問 役職定年導入の特例制度とは。
答 遂行している人が変わると停滞する場合、人数が限られた職場、資格を要する職場で採用できない年など、業務に支障をきたす場合を想定した制度。

行政手続に個人の押印不要

問 押印を不要とする背景は。

答 内閣府が押印見直しマニュアルを作成し、非対面での手続きができるよう押印の廃止を進めている。

意見 デジタル化も含め、時代は変化している。押印は日本の文化との考えもあるが、規則や指針等を策定しながら、脱ハンコ化に向けて取り組んでほしい。



一部事務組合議会(令和3年度決算認定)

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2億8306万円

- 分担金及び負担金 1億1268万円
(内松前町分 5321万円)
- 出身地別措置者数(令和3年12月1日現在)
松前町 … 16人 伊予市 … 10人
砥部町 … 3人 組合外 … 9人



伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 16億3872万円

- 分担金及び負担金 15億5920万円
(内松前町分 4億3107万円)
- 斎場「聖浄苑」建替え事業 本体工事開始
(令和6年度末完成予定)



伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 1億8378万円

- 分担金及び負担金 1億6853万円
(内松前町分 8907万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 4億7139万円

- 分担金及び負担金 3億4105万円
(内松前町分 1億5258万円)
- バグフィルター交換工事完了



※1万円未満は切り捨てて表示しています



**岡井議員
表彰**

岡井馨一郎議員は、20年にわたり松前町議会議員として、地方自治の振興発展にご尽力されています。この永きにわたる功績をたたえ、四国地区町村議会より表彰されました。
おめでとうございます。

一般質問

5 議員が登壇

渡部 恵美 議員 (7ページ)



- ◆「芽吹きと実りのはだか麦プロジェクト」と町の農産物を使用した商品開発や販路拡大の今後の取組は。
- ◆「たわわ祭」の成果と課題は。

影岡 俊範 議員 (8ページ)



- ◆带状疱疹ワクチン接種の助成は。
- ◆胃がんリスク検査実施の考えは。

西村 元一 議員 (8ページ)



- ◆災害時の要配慮者の避難対応は。
- ◆入札予定価格の事前公表の考えは。
- 役場正面玄関南側駐車場と道路入口の段差改善等の考えは。
- 松前漁港移転計画の進捗等は。

村井 慶太郎 議員 (6ページ)



- ◆コロナ禍で開催中止となっている敬老イベントの代替案等の検討は。
- ◆町の少子化対策は。
- 「義農大賞」表彰の中で、地域に貢献している方への対応は。

藤岡 緑 議員 (7ページ)



- ◆中学校部活動の指導を今後どのように改善するのか。
- ◆野焼きに対する町の考えは。



村井 慶太郎 議員

問 開催中止となっている敬老イベントの代替案は。

答 高齢者を敬い、長寿を祝うとともに、敬老に対する関心と理解を深めるために、来年度からは、地域が75歳以上の高齢者を対象に敬老行事を実施した場合に、経費の一部を補助する事業に改める方向で検討を進めたい。

意見 地域ごとのイベントになるようだが、対象者にまんべんなく行き渡る事業を望む。

答 問

少子化対策への取組は。平成29年以降、中学校までの医療費を無償化し、放課後児童クラブの整備を進めた。令和2年度に子育て世代包括支援センター「はぐはぐ」を開設、令和3年度には「産後ケア事業」を開始、第2子以降の子どもには紙おむつ券の配布など、安心して



支援センター 楽しいねー!!

て子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいる。

答 問 人口減少についての施策は。テレワークができる環境を整備しテレワーカーの呼び込み、あるいは地方就業を可能とするサテライトオフィスの誘致も必要と考える。

今後は、子育て世代や若年層を町内に呼び込み、定着を促進する施策を検討していく。

意見 若い世代・子育て世代が本町に住みたいと思うようなインパクトのある施策を期待する。





藤岡 緑 議員

問 中学校の部活動の指導は、少子化問題と教師の負担軽減問題解決のため今後どのように改善されていくのか。

答 本町の中学校における部活動は、運動部が9種目、文化部が4種目で入部率は、約80%で多くの生徒がやりがいをもって活動している。
国は、生徒にとって持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要という考えから「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」という方針すなわち地域移行を打ち出してきた。
そのため令和5年から3年間を部活動の段階的な地域移行の期間とし、推進計画策定のためのガイドラインを現在パブリックコメントに付している段階だ。今後は、町の実情に応じた地域における部活動の在り方とそれに向けた具体的な検討を進めていく。

意見 地域のスポーツ教室の利用や企業版ふるさと納税活用など先進事例も多くある。前向きな検討を。



問 生活環境に関わる野外での廃棄物の焼却（野焼き）について、住環境の変化とともに多くなつた苦情に対する解決策は。

答 野焼きは、原則として禁止されているが、例外的に認められているものもある。稲わらや麦わらの焼却、害虫駆除のための枯草の焼却など農地での野焼きは、合法性・必要性があると思われる。
最近野焼きに関する苦情が多いので、理解を深めてもらうよう広報し、農家の方々にも周辺への配慮をお願いしていきたい。

問 「芽吹きと実りのはだか麦プロジェクト」の成果は。

答 36年連続日本一の生産量を誇るはだか麦を使ったプロジェクトは、首都圏でのフェアや産官学協業で開発した高機能おやつ等、地域資源のはだか麦を有効活用するための取組を実施してきた。
はだか麦の認知度が上がり多様性が高まり、商品を販売する店舗の創業もあつた。「はだか麦の町」が定着するなど成果を上げることができた。

問 農産物を使用した商品開発や販路拡大等の農業振興は。

答 若手農業者検討会議において協議を行ったが、6次産業化やブランド化は難しく農産物のPRに注力すべきとの意見があつた。昨年度から、所得の向上と耕作放棄地対策に有効なサトイモの



渡部 恵美 議員



すいとん・おにぎり・甘酒 全部はだか麦

栽培・出荷をするための機械購入費用の助成を行ったので、作付の拡大が進んだ。

意見 本町は土地が平坦で水にも恵まれ農業に適している。農産品とともに農業の魅力発信を。

問 3年ぶりに開催した「たわわ祭」の成果と課題は。

答 43団体が旬の野菜や鮮魚、生産・加工された商品、北海道松前町の特産品の販売などを行い、約1万2千人が来場。
来場者からも好評の声をいただき、町内産業の魅力を伝えることができた。「コロナ禍の社会・経済環境の変化の中でニーズも様変わりしている。キッチンカーの出店など次年度以後の検討課題である。



影岡 俊範 議員

問 「带状疱疹後神経痛」は、斑点や水ぶくれの消失後、痛みが数か月から数年にわたる場合や睡眠や日常生活に支障をきたすほど重篤な場合もある。

答 予防法として带状疱疹ワクチンがあるが、費用が高額なため助成を求める声が上がっている。本町の考えは。

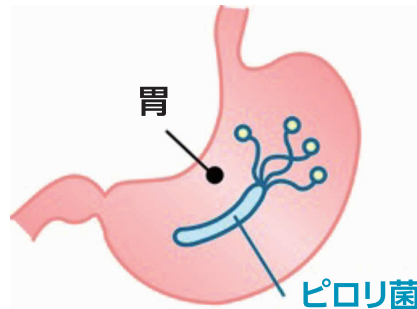
答 予防接種法では、伝染のおそれがある疾病の発生や病気のまん延を予防するために公衆衛生の見地から、一定の疾病について、国、地方自治体がワクチン接種費用の全部又は一部を負担して定期予防接種を実施している。

带状疱疹は、定期予防接種には位置付けられていない。带状疱疹のワクチン接種は、個人の発症予防を目的としたものであつて、公益上の必要性に疑問があるため、接種費用の補助は考えていない。

問

胃がんリスク検査の導入は。胃がんリスク検査は、胃がんの大きな原因と言われるピロリ菌の有無と、胃の萎縮度を調べることにより「胃がんのなりやすさ」を調べる検査であり、胃がんの早期発見、早期治療につながる検査ではないため、現在、胃がん検診においては実施していない。

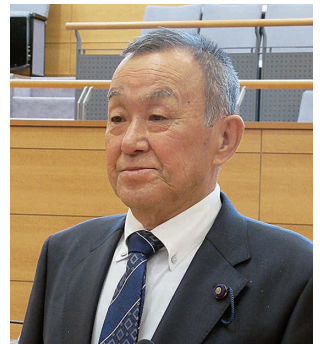
なお、国では、胃がんリスク検査の胃がん検診への導入について検討しており、国の動向を注視したいと考えている。



ピロリ菌とは
胃の粘膜に「すみつく」細菌のこと。感染が長期間続くと、慢性萎縮性胃炎が進行して胃がんなどを引き起こす可能性があると考えられている。WHO(世界保健機構)は、ピロリ菌を「確実な発がん因子」と認定している。

意見

健全な家庭生活の維持・医療費の増大抑止を予防医療の観点で積極的に取り組むよう強く要望する。



西村 元一 議員

問

福祉避難所の開設は。町と指定している9施設の設置者とが連携して令和2年度に福祉避難所開設訓練を実施した。引き続き訓練を計画、実施できるように努めたい。

問

要配慮者の基準は。本町の地域防災計画では「要配慮者」を災害対策基本法と同様に「高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」と定義している。

問

浸水想定区域内の要配慮者の人数は。令和4年10月末現在の75歳以上の高齢者は5132人、障がい者は1492人、6歳以下の乳幼児は1612人。

また、令和4年7月の介護サービス利用実績及び障がい者への給付実績によると、車椅子、歩行器を必要とする人数は253人で、電動ベッドを必要とする人

数は184人。

問 避難所における要配慮者への対応は。

答 災害に対する万全の備えは非常に困難な課題であるが、福祉避難所の人的、物的課題を洗い出し、町内の防災組織と連携を図り、必要となる災害物品の補充を行うなど、要配慮者が安全に避難し、避難生活を送れるよう努めたい。



避難所の医療機器の対応は

問

入札予定価格を事前公表とする考えは。

答 県内で事後公表としている市町は本町のみとなったが、大学教授からも意見をいただき検討を重ねた結果、事前公表によるデメリットの方が大きいと判断し、今後も事後公表を継続する。



「議会だより」 どうですか？

毎回、広報読者モニターにお答えいただいています



【 アンケート集計 】

No.112 (2022.2月号) ~ No.115 (2022.11月号)

① 興味を持った記事 委員会ニュース、一般質問、予算決算関係、討論

② 「議会だより」の印象 「おおむね良い」という回答多数

③ 「かなり良い」「おおむね良い」点

- 全体的にスッキリコンパクトになっており、その分、写真が効果的に使われている。
- 文字数は多すぎないが、情報量はしっかりあるので分かりやすい。
- Q&A でまとめられており、加えてイラストやフォント、色使いもよいため見やすく分かりやすい。

④ 「あまり良くない」「良くない」点

- 全般的に町民に還元される情報・内容が極端に少なかった。(No.114)

⑤ 表紙

- その時期の行事等の写真でよいと思う。
- 議会や事業内容に関係する写真の方がよい。

⑥ その他

- 「議会だより」が話題に上がることがまずないため、自分たちの世代は議会に対して関心が低いように思う。
- 「議会だより」についての声はほとんど聞かない。
- 「議会だより」という題名が少し硬く、読む前から難しそうなイメージを与えている。もう少し柔らかいタイトルだと興味をひきやすいと思う。
- アンケートを取ることは大変よい。アンケート回収率も含めて議会への関心の高さのバロメータになる。
- アンケートから町議会や議員への意見・要望が出て、それに文章等で答えるなどの対応があればさらによい。必ず町民の質問に対して議員は回答する。そうすることで信頼関係が築けると思う。

⑦ 「議会だより」を読み、町や議会に対する意見

- 町民の声に耳を傾けてよい町にしてほしい。
- 近年のデジタル化に伴う議会でのタブレット活用はもっと早く導入できたはず。編集後記に記されている「タブレット」と「紙ベース」の両方で議会進行するのではなく、期限を決めて、完全デジタル化に移行するくらいの計画で効率よく議会を進めていただきたい。
- 夏まつり会場変更や白鶴保育所の工期延長等、計画と実行があまりにもずさんではないかと思った。

- 水道事業会計決算について、水の豊富な街まさき、と認識しているのに驚きの収支だった。また、下水道設備等に予算が回っているのでしょうか。下水道と無縁の地区に住んでいるのでなんだかなあと感じます。この件に関し、町から回答をいただきました。

※多くのご意見ありがとうございます。これらを参考によりよき議会広報を目指していきます。

回答

この数年、水道事業では管路や施設の維持費が増えており、経常収支の赤字が続いています。また、新しい浄水場の整備に、今後、多額の費用を要する見込みです。そのため、現在、経営改善に向け経営課題の再検討を行うとともに、水道の利用者の負担の公平性に配慮した適正な料金水準の検討を進めています。

公営企業は、それぞれ独立した経営を行うもので、下水道整備等を行うための予算は下水道事業会計で計上しており、水道事業が負担していることはありません。



町民の声

人口減少、大丈夫？

筒井 k・S

愛媛県の住み心地のいい街という記事を見ました。住み心地がよい理由として、生活や交通の利便性、治安や行政サービスのよさなどが挙げられるでしょう。

以前から少子高齢化による人口減少の問題についてよく耳にしていますが、住み心地がよいのに町民の人口が減少するのかなど。

いろいろ考えてみると、やはり人口の自然減、つまり出生数の減少が大きいのではないのでしょうか。

高齢化社会を支えているのは働き世代・子育て世代です。その世代の方々が子どもを産み育てやすい環境の充実を図り、さらなる支援をすることがこの問題を解決していくひとつの手立てになるのではないのでしょうか。行政や議会には、働き世代・子育て世代のためにどうすればよいか知恵を出し合って、その世代にとっても「魅力ある松前町」にしていただきたいと思えます。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

**【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆Fax 985-4148◆**

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

2月27日(月)～3月15日(水)

一般質問 3月6日(月)

インターネット
配信やっています



表紙から一言

消防団関係者の皆様方には、日頃から火災やあらゆる災害に対し、献身的に努力されていることに深く敬意を表します。

一人でも多くの命を救うためには、地域の防災力をさらに高めていくことが重要であると強く感じています。

議会としても、町民の皆さんが安全で安心して暮らせる「松前町」の実現のために、現場での課題をしっかりと把握し、消防力や防災力の強化に向け取り組んでまいります。



「木遣り唄」まとい会の皆さん

編集後記

越年のコロナ禍、そしてロシアのウクライナ軍事侵攻、円安による物価高と経済に様々な障害が噴出した。各種行事中止や町民にも行動制限が課され、先が読めない状況が続く。

行政は、目前のことに適切に対処することは当然のこととし、議会は現場の声を意識しながらも、行政が5年先10年先の視点を見失わないよう監視していかなければならない。

卯年は飛躍向上を意味し、新しい挑戦に最適な年と言われる。
本町も希望をもった新年としたい。
(影岡 俊範)

議会広報常任委員会

委員長	稲田 輝宏
副委員長	曾我部 秀司
委員	住田 英次
委員	田中 周作
委員	影岡 俊範
委員	渡部 惠美
委員	西村 元一

